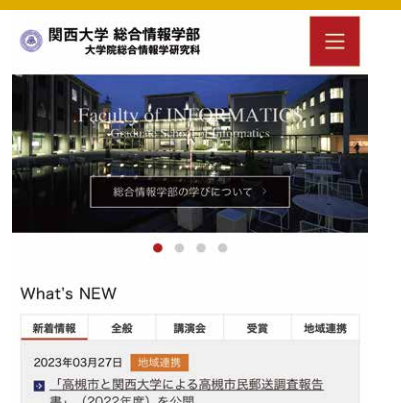


総合情報学部

Faculty of Informatics

📱 総合情報学部 ホームページ

本冊子の掲載情報を違った角度からより詳しくCheckできるのが「総合情報学部ホームページ」。教員と学生がゼミを紹介する“Research FOCUS”、高槻キャンパスを写真で紹介する“SOJO PHOTO”、学生の活動を紹介する“SOJOマガジン”など、総合情報学部の魅力と最新情報が満載です。



📱 関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web 2023年4月リニューアル

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載！社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試 検索 / クリック！\



LINE 関西大学 入試センター × LINE公式アカウント



Instagram 関西大学 入試センター 公式Instagram



Twitter 関西大学 入試広報 公式Twitter



YouTube 関西大学 入試センター 公式YouTube



総合情報学科



JRでのアクセス
JR京都線「高槻」駅(大阪・京都駅から共に約15分)または「摂津富田」駅下車、高槻市営バス※に乗り換え。

阪急電鉄でのアクセス
阪急京都線「高槻市」駅(大阪梅田・京都河原町駅から共に約20分)または「富田」駅下車後、JR「高槻」駅またはJR「摂津富田」駅まで徒歩移動(約5～10分)し、高槻市営バス※に乗り。

※高槻市営バス
JR「高槻」駅から「関西大学」行に乗り。JR「摂津富田」駅からは「関西大学」「萩谷」「萩谷総合公園」行のいずれかに乗りし、キャンパス内のバス停「関西大学」下車(この間両ルート共に約20分)。「西の口(関大正門前)」では降りないでください。



関西大学

総合情報学部 〒569-1095 大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1
■総合情報学部オフィス / Tel.(072)690-2151 Fax.(072)690-2491
■高槻キャンパスオフィス / Tel.(072)690-2161 Fax.(072)690-2134

「情報」にアプローチする方法は十人十色。 文系・理系の枠を超えて、 自在な学びが広がる。

総合情報学部は、文系・理系という枠組みにとらわれず、人文・社会・自然科学分野を横断的に学べる文理融合型の学部です。多彩な学問領域におよぶ科目群から、興味・関心に合わせて自由に科目を選択することで、ますます高度化してゆく情報社会のあらゆるテーマを多面的に探究することができます。確かな情報フルエンシー(利活用能力)を備え、情報の本質を見通す能力と柔軟な発想力をもった人材を育成します。



モーションキャプチャーは、人やモノの動きをデジタル化する技術です。総合情報学部で導入しているモーションキャプチャーは慣性式と呼ばれ、加速度センサーからデータを取得します。この写真は、フェンシングの動作を計測し、3D映像化しています。その結果は、選手の技術向上や個性を伸ばすデータサイエンスの研究などに利用されます。ほかにも、ロボットの制御やVRコンテンツの作成などさまざまな場面でモーションキャプチャーは利用されています。

Message

学部長からのメッセージ

学びと研究・創造のスマート キャンパスへようこそ!

総合情報学部は、学生と教員が共に学び、共に研究・創造していく学部です。その成果は国内外の学会で発表されているほか、グランフロント大阪でも展示されています。

高槻市や堺市と連携した研究活動もあります。その学びと研究・創造をより一層充実させるため、総合情報学部では今、「スマートキャンパス」構想を推し進めています。

例えば、リサーチ・コモンズの開設。ここは、データサイエンティストをめざす学生、企業と連携したプロジェクトに携わる学生、起業をめざす学生など、目的をもった学生たちの活動拠点となります。リモート授業に適した教室(ハイフレックス教室)や、デジタル技術を駆使して遠隔や対面といった参加形態に影響されない環境を実現する実験的教室(Global Smart Classroom)も新設しました。総合情報学部が誇る本格的な映像スタジオには最先端のVR/ARシステムが導入され、MonoLab／総情工房には3Dプリンターやレーザースキャナーなどが設置されています。

このような環境を生かすために大事なのが「学び」です。総合情報学部では、AIや機械学習などの情報科学、あるいはCGやVRなどの映像分野だけでなく、経済学、経営学、社会学、政治学、心理学、教育学など幅広い分野の講義や実習が提供されています。文系学生も無理なく履修できる「データサイエンス教育プログラム」もあります。

これらの授業を通して幅広い知識と技術を「学び」、どんどん実践的活動に結びつけてください。そして、それぞれの専門を追究してください。

総合情報学部長 名取 良太 教授

学部長と学部生による
紹介PV(約1分30秒)を
Check!



撮影協力: 関西大学体育会フェンシング部・乾真也さん(総合情報学部3年次生:撮影時)、関西大学体育会フェンシング部コーチ・市原淳さん(撮影時)、総合情報学部・林武文ゼミ、総合情報学部・瀬島吉裕ゼミ

時間とコストを極力かけずに
信頼できる品質のソフトウェアを開発するには？

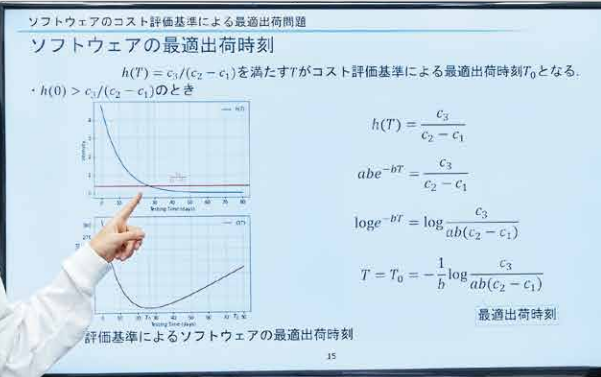
例えばゲームの各開発工程では、レビュー（見直し）やテストが行われます。そこで修正が必要になると、工程を遡ることが必要になります。工程が進めば進むほど遡る工程が多くなり、修正コストは高くなります。しかしテストを永遠に繰り返して、時間とコストをかけ続けるわけにもいきません。そこでテストコストと、出荷後の保守コストのトレードオフ関係に着目し、総期待コストが最も小さくなるような条件を検討しました。ソフトウェアは正常に動いて当然のものとして捉えられます。この研究では、高品質で信頼性を備えたソフトウェア開発を、効率的かつ経済的に実施するため、管理的な側面からそれを支援する技術を開発しました。ソフトウェアの信頼性という分野は私たちの社会を裏側から支えるような分野であり、現実を数理モデル化して捉えるこの研究を通して、その一部を知ることができたと感じています。

担当教員



井上 真二教授

確率統計の知識を用いて、ソフトウェアの品質や信頼性を評価する数理モデルの開発などを行っています。社会の問題に具体的にアプローチする面白さを感じてほしいですね。



ソフトウェアの最適出荷時刻

品質管理

2023年3月卒業
藤本 昇

他大学との研究交流会で情報を
駆使した企業分析の成果を発表！

他大学の経営系ゼミと合同で、研究交流会を行いました。今年のテーマは「日本企業の海外展開～有価証券報告書などの開示情報から読み取る経営の現在と未来～」です。グループに分かれて分析する企業をピックアップし、損益計算書や貸借対照表、今後の展望などを分析しました。また私たち3人は実行委員として、オンラインツールを使って交流先のゼミ生と打ち合わせを重ね、交流会の企画運営を担当。当日のプレゼンテーションでは開示されている企業情報のどの点に注目するかという点において、総合情報学部の学生らしさを発揮できたと思います。ウェブサイトやCMだけでなく、開示情報から企業の本質や意図を読み取る力、また、利活用能力をゼミで培うことができたかと再確認しました。

担当教員



齋藤 雅子教授

企業や社会の〈情報〉をどのように読み解き、活用するかを身に付けられることが、情報学を学んだ学生の強みです。異なる学問分野を学ぶ他大学学生との交流において、その強みを発揮できたと思います。



企業分析

4年次生
宅崎 喜加

4年次生
藤井 亜弥

4年次生
小澤 里果

生まれる前から子どもが将来罹る
病気のリスクを予測できるようになる？

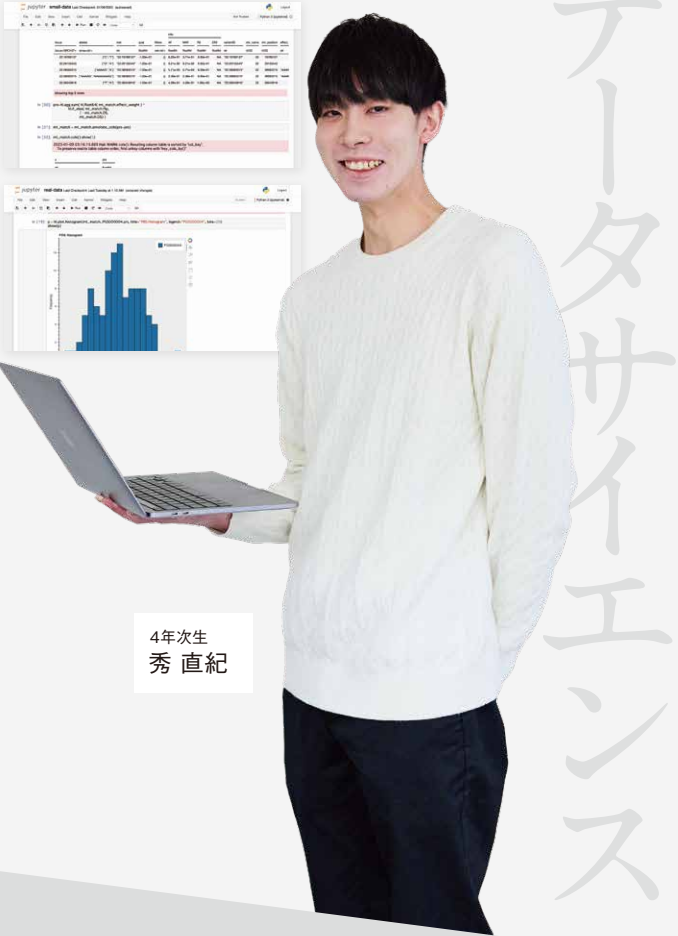
バイオインフォマティクスという、生命科学と情報科学を掛け合わせた分野を研究しています。両親のDNAを解析することで、生まれてくる子どもが将来どのような病気になるか、確率を予測するというのが私の研究です。生命科学が発展し、現在はDNAを解析することで、ある人が将来病気になる確率を知ることができるようになりました。この研究をさらに一歩進めて、男女1組のDNAを対象に解析を行い、その2人から生まれてくるであろう子どもが将来病気になる確率を予測することをめざしています。今後、DNAによる病気の発症予測が世の中に普及した場合、病気を未然に防ぐために役立つと思います。その一方で、発症リスクの高い遺伝子をもつ人々の立場が弱くなってしまう可能性もあります。技術の進歩は止められないので、いつの日か、遺伝子に対する向き合い方を社会全体で考えなければいけない日が来ると思っています。

担当教員



竹中 要一教授

現在はウェブサイトやアプリなどによって、さまざまなマッチングの機会が提供されていますが、その新たな指標にもつながるユニークな研究だと思います。



データサイエンス

4年次生
秀 直紀

身近な「気持ち悪さ」の正体は？
心理学をベースにした実証科学的アプローチで迫る

人の心のメカニズムについて幅広く研究する佐々木ゼミの中でも、私たちは「気持ち悪さ」についてそれぞれ研究しています。例えば笑顔の口元の写真がプリントされた「スマイルマスク」がもたらす不気味な印象についての実験や、片思いの相手に対してなぜか嫌悪感を抱いてしまう「蛙化現象」が化粧によって軽減されるのかを確かめる研究、動画サイトやSNSで流行している「ASMR (Autonomous Sensory Meridian Response)」に対して抱く不快感と個人特性との関係、あるいは食糧危機時代に備えて注目される「昆虫食」に対する嫌悪感を「知覚的平均化」という枠組みを基に制御できるのか、といったテーマに取り組んでいます。認知心理学の基礎的な理論と知識、また1、2年次で学ぶプログラミングや統計、動画・写真編集といったスキルを用いながら、私たちが身近に感じる「気持ち悪さ」の正体を客観的に解き明かすことで、より良いコミュニケーションのあり方や、苦手・違和感の克服につながれば良いと考えています。

担当教員



佐々木 恭志郎 准教授

認知心理学という科学的な研究を通して、物事を客観的かつ合理的に見る力や答えのない問題を解決する力を養い、各々の未来を切り拓く人間になってほしいと思います。



認知心理学

4年次生
内川 乃天

4年次生
清家 裕也

2023年3月卒業
藤原 舞

2023年3月卒業
立花 太希

研究テーマは何でもあり!情報と経営の視点から自由に興味を掘り下げる

英語で書かれた情報システムに関する文献をゼミ全体で輪読し、考える土台を身に付けた後は、どんなテーマでも自由に研究していいのがこのゼミの特徴です。例えば私、西井が取り組もうとしているテーマは「オタクの消費行動について」。何かに熱中して時間とお金をつぎ込んでいる人は、なぜそのようになったのか、消費することでどのような心理状態になるのかを、アンケート調査を元に探る予定です。一方、市岡さんは医療分野における情報化、DX化の推進がどのような影響を及ぼすのかを調べ、就職活動に生かしたいと考えています。先生のアイデアや他のゼミ生のテーマにも興味をひかれながら研究を前に進める中で、社会における仕事や文化など、さまざまなことに関心が広がっていくゼミです。



担当教員



ゼミでは各自が気になること、関心のあることを調べてもらっています。最新のカルチャーなどについては私よりもゼミ生の方が詳しいので、こちらも学ばせてもらっています。

古賀 広志教授

社会調査データの分析から「格差」や「幸福」の原因を探求する



社会調査データを用いて、「格差」や「幸福」など現代社会におけるさまざまな問題について分析や発表、議論を行いました。私たちのテーマは、「なぜ豊かな家庭で生まれた子どもは成功しやすいのか」や「どのような人がなぜ幸福感が高いのか」というものです。たくさんの文献を集めて読み、仮説を立てた後、全国で実施された大規模な社会調査データを用いて分析し、結果について発表・議論を行いました。また、ゼミ生全員がそれぞれの問題関心から質問を作り、インターネット調査を実施しました(有効回答1200件)。このデータを用いて、親の豊かさによる子どもの格差には、幼少期の家庭環境の影響が大きいこと、また、男女の幸福感の違いには、価値観や人間関係が関係していることなどを発見しました。この結果をもとに、「格差解消」や「幸福度の上昇」のために必要な社会政策について考えています。

担当教員



社会調査スキルを身に付けたことに加えて、データ分析を通じて、身近な問題の裏側には、複雑な社会的背景が存在することを理解できたと思います。

阪口 祐介教授

4年次生
森本 悠斗

4年次生
坂東 玲希

学校において教員以外の 人材が力を発揮するために必要なこととは？



デジタルツールを使った教育を支援するICT支援員が、学校現場で実際に活動するにあたって支援がしづらいという実態を明らかにし、その要因を分析しました。具体的には、私自身がICT支援員として学校で支援活動を行い、他のICT支援員へのインタビューも踏まえて分析。ICT支援員の困難を「教員からの支援依頼の少なさ」、「教員に対するICT活用提案に対する自信のなさ」と「教員のICT活用方法を把握することの難しさ」、「現場教員と管理職との方針の違いによる支援の難しさ」の4種類に分類しました。また、その要因についても分析し、「ICT支援員と教員のコミュニケーション時間の不足」、「ICT支援員の教育に対する知識不足」が要因であると考え、ICT支援員に対する研修が必要であると提案しました。現在、学校現場はICTの導入だけでなくさまざまな問題を抱えており、教員だけでは解決が難しい状況にあります。この研究が、学校に関わる外部人材活用に対する1つの知見になればと思います。

博士課程前期課程
2023年3月修了
鎌田 貴大

指導教授
小柳 和喜雄教授



ロボットは「優しい嘘」で 人間をだますことができるのか？

人間はロボットにだまされるのか、つまり人間はどのような情報からロボットの意図を推定するのかを研究しています。私たちは恋人の手料理がおいしくなくても、おいしいと「優しい嘘」をつくことがあります。ロボットもこうした人間らしさをもち得るのかと考えたことが、研究のきっかけです。実験では視線と腕が動くクマの3Dモデルを作り、参加者にクマが左右どちらのカップを取るのかを予想してもらいました。カップを取る動作は腕の動きに関連付けられますが、参加者の視線を測定すると、クマの視線から判断し、結果的に騙される人も多くいました。これは3Dモデルであるクマを、心をもつ存在であると捉えているからだと考えられます。他にも複雑な要素が関係する「嘘」を考える上で、理工・情報系だけでなく、心理学や社会学など幅広い分野の先生から指導を受けられる点は、総合情報学部ならではの点だと思います。



博士課程前期課程
2年次生
楊 立衡

指導教授
瀬島 吉裕准教授

メディア情報系を中心に修得

コンテンツ制作分野で活躍 株式会社タノシナル コンテンツクリエイター



2022年3月卒業
松井 すず さん

現在の仕事 >>> 映像やイベントの企画、進行などに携わっています。

イベントの企画提案から運営まで、自社のクリエイターたちとトータルに関わっています。先日は企業の経営陣と現場の社員をつなぐオンラインの表彰イベントに携わりました。参加される方が楽しめて意義を感じてもらえる内容にしようと、長い時間をかけてやり取りを重ねました。イベントを実施した後に、企業の担当者の方から「タノシナルさんありがとうございます」と仰ってもらえたときは、とても胸が熱くなりました。在学中に映像機材や編集ソフトの基礎をある程度学んできたので、入社後はスムーズに業務に取り組めていると思います。映像制作からイベント制作、運営、ショップの運営まで幅広く行っている会社なので、今後もさまざまな業務に積極的に関わりたいと思っています。



先輩からのメッセージ 文系と理系の学生と一緒に学ぶ環境は珍しいと思います。自分の得意分野だけにとどまらず、いろいろな人と交流すれば将来必ず役に立つと思います。

在学中の学び

入学前

映像や番組を作ること
に興味があった

テレビで観る面白い番組がどのように作られているのか興味をもっていました。そしてオープンキャンパスに参加した際に、本格的なスタジオや機材を目の当たりにして、ここで学びたいと考えました。

1年次

ネットワークの
基礎知識を学んだ

「コンピュータネットワークの基礎」という授業が印象に残っています。当時は難しいと感じましたが、情報社会で生きていくために必要なネットワークの知識を基礎から学ぶことができました。

2年次

チームで課題を
解決する経験ができた

「テーマ別研究」という授業で、ピタゴラスイッチ装置を作成しました。6人のチームでコミュニケーションをとりながら、難しい課題をチームで解決する方法を学ぶことができました。

3・4年次

カメラワークを題材に
卒業論文を制作した

映画のジャンルごとに特徴的なカメラワークがあるのか、またそれによって観客はどのような印象を受けるのかを研究しました。自由にテーマを選べるゼミで、他の人の研究からも刺激をもらいました。

SOJOで打ち込んだこと

授業と課外活動で
映像制作に没頭した

映像制作団体「MCS」に所属して、番組制作や高槻キャンパス祭でのイベント制作などに取り組みました。授業で学んだことを実制作に生かす楽しさを知り、もっとステップアップしたいという思いが高まり、現在の仕事を選ぶことにつながりました。

社会情報システム系を中心に修得

ネットワーク分野で活躍 AKKODiS コンサルティング株式会社 サーバーエンジニア



2021年3月卒業
三好 佑季 さん

現在の仕事 >>> 企業のITシステムのインフラを支えています。

取引先企業のサーバー保守と運用を担当しています。例えば、サーバーの利用者から急にアクセスできなくなったと報告を受けたら、トラブルの原因を速やかに調べるのが私の仕事です。設定が変更されていないか、サーバーの容量が不足していないかなど、さまざまな要因を考慮して問題を解決します。エンジニアは、パソコンに向かって1人で黙々と仕事をしているイメージがあるかもしれませんが、利用者と直接やりとりする機会も多く、作業が完了した際に感謝を伝えていただけることが励みになっています。就職前は新しいシステムを構築することに関心がありましたが、今は取引先企業の業務が滞ることなく、スムーズに進むことを支えるこの仕事のやりがいを感じています。



先輩からのメッセージ 総合情報学部には最新の設備、機材が揃っています。悔いのない大学生活を過ごすために、興味があることは全部やってみることをおすすめします！

在学中の学び

入学前

恵まれた環境で動画
制作に取り組みたい

オープンキャンパスに参加して、プロ仕様のスタジオや最新の映像ソフトを利用できる環境に魅力を感じました。動画やCMの制作など、メディア関係の学びに対する興味が高まりました。

1年次

ITリテラシーの
基礎を固めた

導入ゼミやソフトウェア実習などを通して、初心者になかったPCの知識とスキルがアップ。それらの講義で学びの土台を固めることができたと思います。また、国内外の行政を学ぶ講義などの履修で視野を広げることもできました。

2年次

社会情報システム系の
学びに興味を湧いた

〈3つの系〉から興味がある講義を幅広く履修しました。なかでも「社会調査方法論」でアンケート調査の進め方や注意点を学び、社会情報システム系のアプローチに面白さを感じました。

3・4年次

ゼミ活動を通して
将来の目標が定まった

ゼミで膨大なデータの収集に取り組みました。データ分析の自動化システムを自分たちで作成し、作業時間を大幅に短縮できた感動が、システムを作る仕事に就こうと考えるきっかけになりました。

SOJOで打ち込んだこと

チームワークを機能させる
ことに力を注いだ

ゼミでは地方自治体の資料を集め、分析する作業を進めました。膨大な量を効率的にまとめるには、自分一人では限界があります。周りの仲間と協力しながら、メンバーの一人が得た知見をいかに皆で共有できるか、仕組みづくりの大切さを実行動するようになりました。

コンピューティング系を中心に修得

高校教員として活躍 東京都立駒場高等学校 情報科教員



2022年3月卒業
網本 伊吹 さん

現在の仕事 >>> 情報活用の方法と楽しさを教えています。

高校で「情報I」を担当し、生徒が身近な情報に興味をもってくれることを目標に授業を進めています。日々生徒と接し、他の先生方とコミュニケーションを重ねる中で、生徒ができることを増やし、自分自身も少しずつ成長していると感じます。また、情報学や実習を通じて身に付けた内容は、授業立案や校務の効率化にも役立っています。在学中に教育現場に継続的に関わった経験から、教員という職業の魅力や困難さを知り、仕事の概要を理解して教員になることができました。生徒たちが情報リテラシーを高め、問題を発見し解決する力を身に付けられるような授業をめざして、自分自身も学び続けます。また、今後は部活動の顧問や担任などの立場も経験して、生徒の力になりたいと思っています。



先輩からのメッセージ 情報について幅広く、自由に科目を選べるのが総合情報学部の特長です。情報を専門に学んだ経歴は、これからの社会を生きる強みになるはずです。

在学中の学び

入学前

プログラミングの
面白さを知った

元々ゲームが好きだったこともあり、高校の情報の授業で触れたプログラミングに面白さを感じました。メディアにも興味があったため、多様な角度から情報を学べる総合情報学部を志望しました。

1年次

コンピュータの
可能性に驚いた

プログラミング基礎実習やソフトウェア実習、Enjoy Computingなどの科目を通して、プログラミングに加えAdobeソフトの基本的な操作方法を学びました。コンピュータでできることの幅広さを実感しました。

2年次

情報を教える自分の姿を
具体的にイメージできた

2年次で受講した教職科目「情報科教育法」の授業を通じて、情報科の教員への魅力が一層強まりました。また、自分が教員として授業を行うイメージが具体的にになったと思います。

3・4年次

教育現場に関わり、
教員志望が明確になった

教育系のゼミに所属し、活動の一環として高校のITコースの授業支援を行いました。高校の授業の様子を肌で感じ、年間を通じて継続して教員や生徒と関わる中で、教員をめざす気持ちが高まりました。

SOJOで打ち込んだこと

まわりの人と協働することで
成長できた

ゼミでの活動を通して、互いの長所を活かし、役割を担いながら仲間と協働する大切さを学びました。他の人の意見や知恵を求めることはあまり得意ではなかったのですが、周りの人の優れた能力や面白い意見に触発されて、自分もチャレンジして成長することができました。

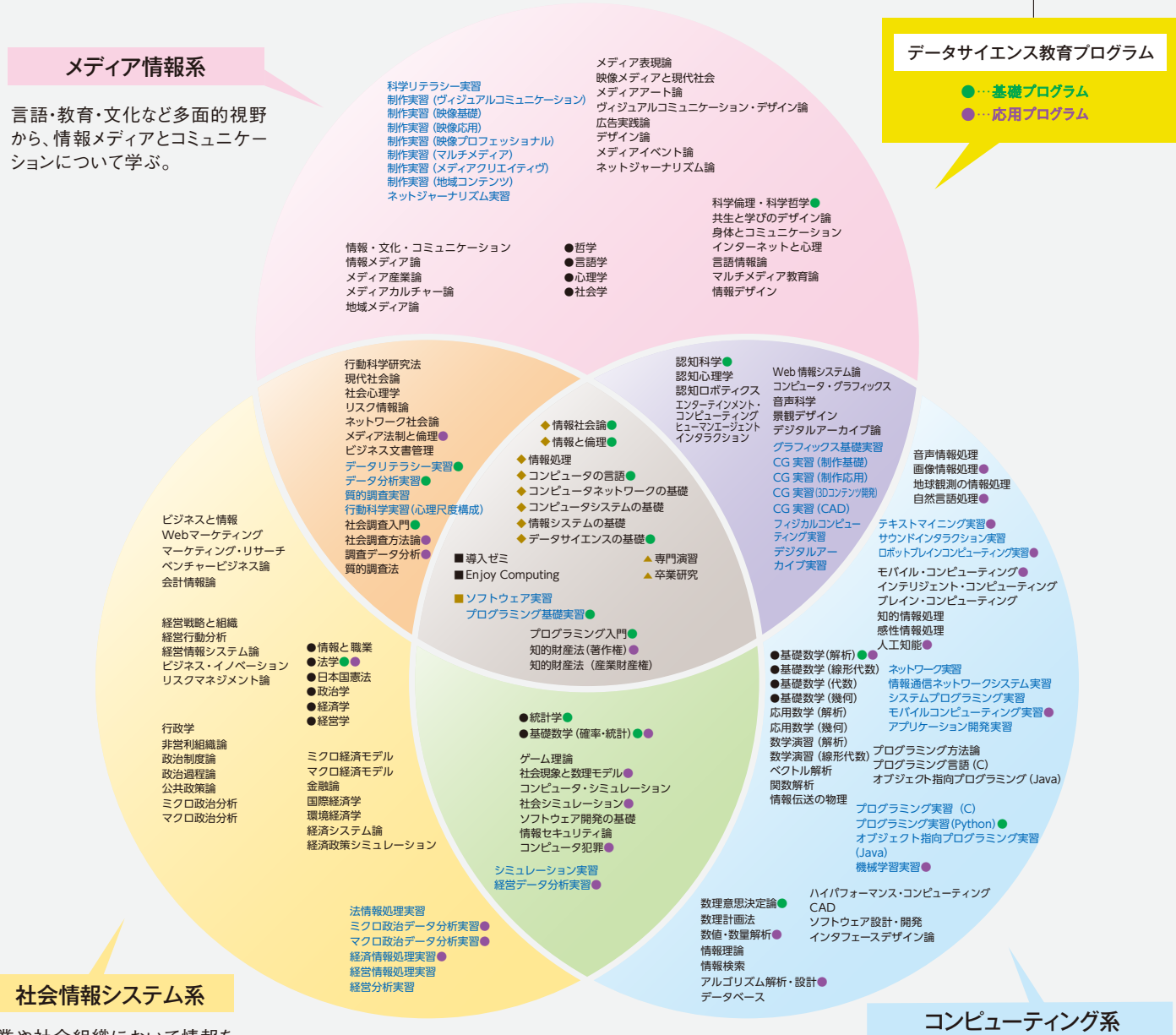
自分自身で学び方を選び、興味の幅を広げ、知識を深めることができます。

文系・理系の枠を超えて、幅広い分野を網羅する情報学。そのなかで学生一人ひとりが自分に合った学び方を実現できるように、総合情報学部では〈3つの系〉をカリキュラムの指針として用意しています。

これは、いずれかの系に所属して専門領域を限定するものではなく、興味・関心を広げ深めることをサポートするものです。

自分の興味はどこにあるのか、何にスポットをあてて学んでいくのか、そのために必要な領域はどの組み合わせなのか。

年次が進むとともに、自分の可能性を発見し、深め、関連付けていく自由度の高いカリキュラム体系です。



データサイエンス教育プログラム

社会の情報化が進むことで、大量のデータが蓄積されるようになりました。その膨大なデータから有益な情報を紡ぎ出す、それがデータサイエンスです。行政府の政策決定や企業の経営戦略、AI（人工知能）の開発等、新たな時代の創造にデータサイエンティストの活躍が期待されています。総合情報学部では、このデータサイエンス技法を段階的に学ぶ**データサイエンス教育プログラム**を提供しています。このプログラムでは、データの収集や表現、統計的分析、プログラミングに関連する講義や実習科目を系統的に学習します。そして、所定の単位を修得することで、成績証明書にプログラム修了の記載がされます。

基礎プログラム

1～2年次配当の科目で構成され、データの収集・表現・解析の基礎を学ぶ。

応用プログラム

主に、2～3年次配当の科目で構成され、データを高度に活用する理論やAIを利用した情報システムの構築等を学ぶ。

4年間の学び

1年次
大学での学び方を実践的に身に付ける。

春学期は、演習型・実習型の導入科目を通して大学での学びについて理解するとともに、文理融合型情報学の基礎を学ぶことで、専門分野への興味を高めます。コンピュータも基本的な扱い方からスタートするため、初心者も安心して学べます。秋学期になると展開科目、実習科目を選択して、情報学の多様な分野の入口に立ちます。

2年次
専門的な知識とスキルを自ら選んで学ぶ。

〈3つの系〉を意識しながら、複数の分野から科目を選んで興味のありかを探ることも、1つの系を集中的に学ぶことも可能です。1年次で身に付けた基礎的なリテラシー（知識と能力）を生かし、作品制作やデータ分析、新たなプログラミング言語など、より高度なスキル習得にチャレンジします。

3年次
ゼミでの研究活動を深めるために、より広く深い知識を習得する。

ゼミに所属して2年間の研究活動がスタート。まずはゼミ全体の研究テーマを学びながら、自分の研究テーマを絞り込んでいきます。メディア、経営、情報処理などの多様なテーマを扱う展開科目を、自分の研究テーマにあわせて選択し、複数の「系」にまたがって横断的、複合的に学ぶこともできます。

4年次
研究テーマを卒業論文、卒業作品としてまとめる。

文献の輪読、ディスカッション、フィールドワーク、システムの開発など、手法は研究テーマによって異なりますが、個人もしくはグループワークで研究を深めています。3・4年次生、大学院生合同でゼミを行い、必要なスキルを指導することも。4年間の学びの集大成として、最終的に卒業論文・作品をまとめます。

導入教育

1年次

大学では、自らが学ぶ姿勢をもつことが何より大切です。しかし、入学後に高校までと大きく異なる学習環境に戸惑う学生は少なくありません。そのため、総合情報学部では、大学での学びにスムーズに適應できるよう、導入教育に力を注いでいます。

演習型科目「導入ゼミ」

レポート作成やプレゼンテーションの要領、図書館やデータベースの利用法などのスタディスキルを身に付け、受動型から発信型へと意識を切り替えていきます。



実習型科目「Enjoy Computing」

デジタル画像の編集やプログラミングなどを楽しみながら学ぶことで、情報学の可能性などを実感し、専門分野への興味を自然に高めていきます。



総合情報学部で取得できる資格

- 教員免許 高等学校一種 情報・数学・公民 3種類の教員免許を取得することが可能です。
- 社会調査士

社会調査協会が認定する資格で、社会調査に関する基礎的な知識と技能、倫理観をもつ人材に与えられる資格です。所定の単位を修得し、申請することで取得可能です。

＼ 総合情報学部についてもっと詳しく知りたい! /

ホームページで詳細をCheck!

教員紹介



施設紹介



導入科目(■)／高校教育と大学教育の橋渡しとなる新入生対象の科目
基礎科目(●)／専門的な科目を学習していくうえで必要な基礎知識として配置された科目
基幹科目(◆)／総合情報学部で情報学を学んでいくうえでコアとなる科目(必修)
展開科目(無印)／各系における専門性の高い科目
実習科目(青字)／基幹・展開科目で学んだ理論を実践する科目(■は必修)
演習科目(▲)／各自の研究テーマを卒業論文・作品にまとめる科目(必修)

「系」の修了について
各系における展開科目を18科目(36単位)以上修得した場合は、成績証明書に「○○系修了」と記載されます。「系」の修了については卒業要件ではありませんが、各自の専門性を深めるべく積極的に履修の指針としてください。

左記以外に、共通教養科目・外国語科目・教職科目等があります。

課外活動

高槻キャンパスには、総合情報学部生を中心メンバーとする公認サークルが13団体活動しています。
※総合情報学部生は、主に千里山キャンパスで活動する関西大学のクラブ(体育会・文化会)やサークルに参加することもできます。

Club / Circle

関西大学 演劇サークル劇団「万絵巻」

こだわりを詰め込んだ舞台は
本番でより一層輝きます

春の新歓活動から卒業公演まで、年6回の公演を行っています。内容はバラエティーに富んでいて、会話劇、アクションもの、コメディーと公演ごとに毎回違うのが特徴。舞台を観てくれている観客は役者に注目していると思いますが、劇団には、衣装、照明、音響、大道具、小道具、演出、舞台監督など、さまざまな役割の仲間がいます。お互いにこだわりをぶつけ合い、自分の持ち場で力を発揮することで1つの公演ができあがります。練習は自由に参加できますが平日の練習や、週末の通し稽古を経て本番を迎えます。どの役者も舞台上でライトを浴びて注目を集める中、練習以上に生き生きと思い切った演技をするのが面白いですね。大学から始める仲間も多く、初心者でも心配はいりません。メンバー全員が輝ける舞台をめざしています!



主な活動
スポット

S棟(スチューデントハウス)

サークル活動の拠点として、授業のない時間集まる場所。衣装や小道具なども保管しています。



関西大学高槻放送局 「KTB」

恵まれた制作環境で自分の作りたい
映像作品が実現できます

年に3回オンラインライブで開催している「放送祭」で発表する作品制作を中心に活動しています。作品は、大学のキャンパスを舞台に複数のカメラで撮影を行ったかくれば大会のような大規模なものから、料理番組、個人で作成した映像までさまざま。メンバーがサポートしてくれるので、作りたいと思ったものに取り組むことができます。総合情報学部の充実した設備を活用できるのも魅力の1つ。作品のクオリティーをとことん追求できる環境が整っているのも、制作意欲がますます刺激されます。最近ではNHK全国大学放送コンテストにも出場するなど、活動の幅を広げています。



主な活動
スポット

MA(マルチオーディオ)ルーム

本格的な音源処理、編集設備が整い、アナウンスブースも併設されているので、ラジオ番組制作やハイクオリティーなナレーション動画を作ることができます。



関西大学軽音楽 サークル同好会 「Banditz」

「音楽が好き」という気持ちを通して、
学年を超えたメンバー同士の
交友が深まる

月に一度のライブ開催を主な活動として、日々練習に取り組んでいます。メンバーを固定せず、ライブごとにメンバーを組んで参加するので、学年を超えたさまざまな交流が生まれています。また、他大学と合同で開催するライブにも参加しています。全くの初心者でも参加できるのがこのサークルのいいところ。上級生たちが丁寧に教えてくれるので、初心者の中には音楽を始めて3カ月でライブに出演したメンバーもいます。楽器を触ったことがなくてもOK!音楽が好きな気持ちがあれば必ず楽しめるサークルです!



主な活動
スポット

S棟(スチューデントハウス)



ギターやベース、ドラムセットなどが置いてあり、個人個人で練習したり、メンバーで集まって交友を深めたりできる、メンバーの憩いの場です。

関西大学バレーボール同好会 「ボラボラ」

メンバー同士のつながりを深める
多彩なイベントを開催

合同練習、自主練習を含めて週に4日のペースで活動。基本的なプレーを練習しながら、参加人数が揃ってきたところで試合を行い、実戦感覚を養っています。地域で行われる大会にも参加し、男女別の試合から男女混合で行われるMIX杯まで幅広く出場しています。メンバー全員で楽しめる活動にも力を入れているのが特徴の1つ。学園祭で模擬店を出店したり、海やプールで遊ぶ夏合宿やスノーボードを楽しむ冬合宿などを行ったりしています。バレーボールはもちろん、さまざまなイベントを通してメンバー同士の交流が深まるので、充実した大学生活を送ることができるサークルです!



主な活動
スポット

体育館

練習に最適な環境が整っています。バレーボールの練習だけでなく、運動会などのレクリエーションでさまざまな競技を行う際にも利用しています。



進路

情報通信業やサービス業で活躍する卒業生の多い総合情報学部。

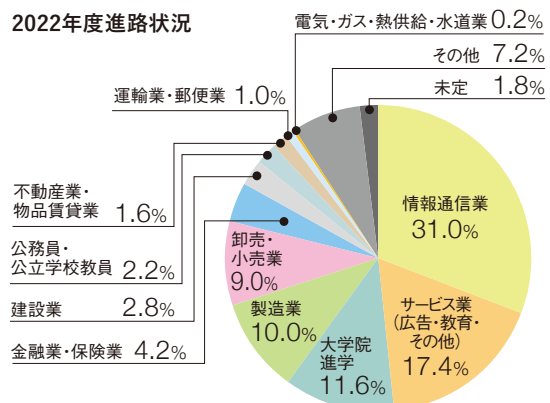
社会のDX(Digital Transformation)を推進する担い手として活躍しています。大学院に進学する人も増えています。

学部生

進路決定率

98.2%

2022年度進路状況

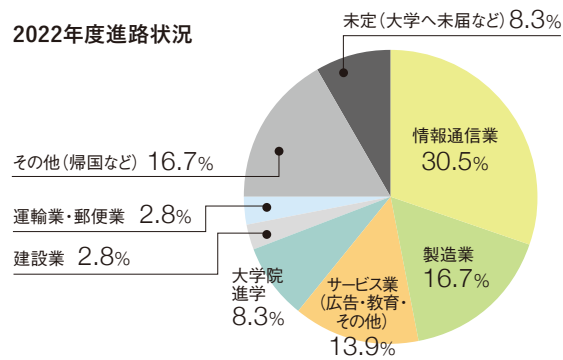


進路の一例(2022年度実績)

情報通信業	インテック、SCSK、エヌ・ティ・ティ・コムウェア、NHKテクノロジーズ、NTTデータMSE、エヌ・ティ・ティ・データ関西、NTTドコモ、NTTフィールドテクノ、オービック、カオナビ、兼松エレクトロニクス、京セラコミュニケーションシステム、さくら情報システム、JR東日本情報システム、JSOL、ジェイテック、JRAシステムサービス、システナ、システムサポート、ジャステック、Sky、ソフトバンク、TIS、DMM.com Group、TBSアクト、東映、トーテックアメニティ、トーハン、豊田通商システムズ、西日本電信電話(NTT西日本)、ニッセイコム、日鉄日立システムソリューションズ、日本総研情報サービス、日本電気通信システム、NEXCOSシステムソリューションズ、パナソニックインフォメーションシステムズ、富士ソフト、富士通、富士フイルムシステムサービス、三井住友トラスト・システム&サービス、三菱電機インフォメーションシステムズ、三菱UFJインフォメーションテクノロジー、USEN-NEXT HOLDINGS、楽天グループ、リクルート など
サービス業(広告・教育・その他)	アジア航測、ADKホールディングス、海遊館、総合警備保障(ALSOK)、大和総研、博報堂プロダクツ、マイナビ など
製造業	アイリスオーヤマ、味の素冷凍食品、伊藤園、伊藤ハム、NOK、エレコム、沖電気工業、キオクシア、小松製作所、サンスター、三和シャッター工業、JX金属、住友大阪セメント、住友電気工業、住友理工、象印マホービン、大日本印刷、テルモ、東芝テック、凸版印刷、日産自動車、パナソニックグループ、扶桑薬品工業、フタバ産業、三菱電機、三菱ロジスネクスト、明電舎、レゾナック など
卸売・小売業	イオンリテール、ウィーメックス、キャノンマーケティングジャパン、シマブンコーポレーション、ダイワボウ情報システム、阪和興業、ファミリーマート など
金融・保険業	関西みらい銀行、京都銀行、ジェシービー、住友生命保険、東京海上日動火災保険、南都銀行、日本銀行、明治安田生命保険、楽天カード、りそなグループ など
建設業	旭化成ホームズ、エクシオグループ、大林組、九電工、クリナップ、積水ハウス、大和ハウス工業 など
公務員・公立学校教員	国家公務員一般職、裁判所事務官一般職、京都市職員、大阪市職員、関市職員、奈良県教員、福井県警察官、奈良県警察官、高槻市消防吏員 など
不動産業・物品賃貸業	セキスイハイム不動産、リコーリース など
運輸業・郵便業	東海旅客鉄道(JR東海)、日本通運、日本郵便輸送、ホンダロジスティクス など
電気・ガス・熱供給・水道業	JERA など
大学院進学	関西大学大学院、大阪大学大学院、大阪工業大学大学院、京都大学大学院、京都教育大学大学院、筑波大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、鳴門教育大学大学院、兵庫県立大学大学院 など

大学院生

2022年度進路状況



進路決定率

91.7%

進路の一例(2022年度実績)

情報通信業	SBテクノロジー、NTTコミュニケーションズグループ、京セラコミュニケーションシステム、ソフトバンク、ディー・エヌ・エー、トランスコスモス、楽天グループ など
製造業	新晃工業、ソニーグループ、TOWA、日本たばこ産業(JT)、日立Astemo、Meiji Seika ファルマ など
サービス業(広告・教育・その他)	アイレップ、アクセンチュア など
建設業	鹿島建設 など
大学院進学	関西大学大学院

CAREER

大学院って、何？

GRADUATE SCHOOL

大学院に行くって、大学にもう少し長く通うこと？

→ いいえ、大学院は「研究」を学ぶところです。

大学が高校の次ならば、大学院は大学の次？

大学院では、大学の勉強の続きというよりも、「研究」を学びます。

大学院では、講義を受けて勉強するとともに、自分で研究を進めます。大学院の講義では、学部のように体系だった知識を学ぶだけでなく、各教員の専門分野での最先端の研究も学びます。また、問題を設定する、実験や調査を行う、論文を執筆し対外的に発表するという研究のプロセスを、個別指導を受けながら学生自身で進めます。総合情報学研究科ではこのプロセスを、主指導教員を含む複数の教員からなる「プロジェクト」で行います。さらに、国内外の研究者や社会人と交流する機会の多いことも総合情報学研究科の特徴です。

「研究」を職業にするつもりはないのですが…

研究のプロセスを学び研究を経験することは、どんな職業でも必要な「問題解決」の方法を学ぶことです。

たしかに、大学教員や研究職につく人は、それほど多くないかもしれません。ただ、現代では、科学や知識も社会のありかたも「日進月歩」ならず「分進秒歩」です。学んだ知識そのものは、その時は最先端でも、すぐに古くなってしまいます。しかし、研究のプロセスを学び、「問題を解決する方法」を身に付けた人は、どんな問題に直面しても、必要な知識を自分で見つけ出して問題を解決することができます。なお、2023年度には、総合情報学部卒業生のうち47人が総合情報学研究科に進学しました。大学院で学ぶことは、決して特別なことではありません。



色彩学の研究で、暗室とペンタプレットを使った実験をしているところです。([「意思決定支援のためのコンピューティング技法」プロジェクト])



総合情報学研究科

情報のスペシャリスト・パイオニア養成を目標に展開する実践的なカリキュラムと画期的な教育システムが着実な研究成果に結実します。

情報メディア環境と社会や人間行動などとの関係を学際的に研究する社会情報学専攻

情報メディア・システムとその発展が、社会や人間行動の変化とどう関わるのかを学際的に研究しています。特に「教育」「コミュニケーション」「産業」「公共領域」という4つの分野を中心に、情報メディア環境の整備とシステムの構築をめざせる実践的教育を実施。多様な分野で指導的な役割を果たす「情報スペシャリスト」を養成します。

新しい情報環境と社会システムの構築を追究する知識情報学専攻

「知識情報学」とは、情報処理システムの高度な利用を目的に、新しい情報環境と社会システムを模索する学問です。本専攻では人間の認知能力に着目し、高度情報化社会に対応する、より使いやすい情報処理システムの構築を研究。先端的な技術と幅広い視点をもった技術系の「情報スペシャリスト」を養成します。

未踏の領域を切り拓いていく情報パイオニアの養成をめざす総合情報学専攻

博士課程後期課程では、次代に求められる新しい情報環境の創出に向けて、文系と理系の分野にまたがる文理総合の1専攻を設置。「高度情報システム」などの最先端のテーマを幅広くカバーする5つの領域を中心に研究し、急激に発展・拡大しつつある情報分野を開拓する「情報パイオニア」を養成します。